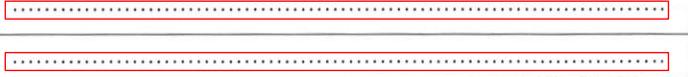
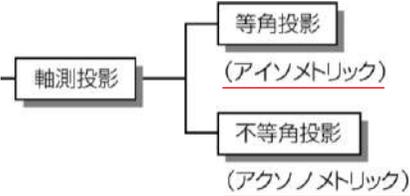
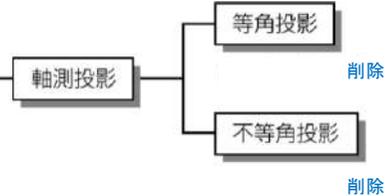
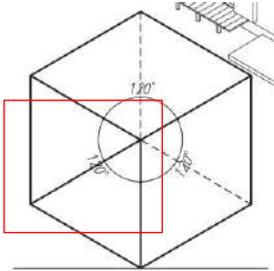
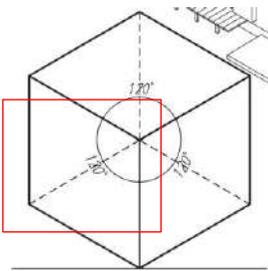


番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
1	目次4	3-4		 削除  削除
2	目次4	5	2-1 配置図・平面図 挿入	2-1 配置図・平面図・面積表
		18	3-1 求積図・求積表・面積表配置図兼平面図 挿入	3-1 求積図・求積表・面積表・配置図兼平面図
3	33	図1		

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
3 続き	35	左9-14	<p>a 等角投影法^① 投影図上の物体の辺のなす角度と3辺の長さが等しくなるように表す投影法を等角投影法といい、この方法でかかれた図を<u>アイソメトリック</u>という。平行線を利用するため、建築物の実体を3方向とも実寸法で表すことができるのが特徴である (▶図5)。</p> <p>b 不等角投影法^② 投影図上の3辺のなす角度が異なり、長さも等しくない投影法を不等角投影法という。基準線との角度は自由であるが、一般に3辺を60°、90°、150°で表した投影図を<u>アクソメトリック</u>とよび、室内の説明図としてよく用いられる (▶図6)。</p>	<p>a 等角投影法^① 投影図上の物体の辺のなす角度と3辺の長さが等しくなるように表す投影法を等角投影法といい、この方法でかかれた図を、<u>一般にアイソメ</u>という。平行線を利用するため、建築物の実体を3方向とも実寸法で表すことができるのが特徴である (▶図5)。</p> <p>b 不等角投影法^{削除} 投影図上の3辺のなす角度が異なり、長さも等しくない投影法を不等角投影法という。基準線との角度は自由であるが、一般に3辺を60°、90°、150°で表した投影図を、<u>アクソメ</u>とよび、室内の説明図としてよく用いられる (▶図6)。</p>
		右1-6		
		図5	図5◆ <u>アイソメトリック</u>	図5◆ <u>アイソメ</u>
		図6	図6◆ <u>アクソメトリック</u>	図6◆ <u>アクソメ</u>

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
3 続き	35	図5 左15 側注2 側注3 側注4	<p>消点^①</p> <p>斜投影法^④</p> <p>① isometric projection ② axonometric projection ③画面と ④ oblique projection</p>	<p>消点^②</p> <p>斜投影法^③</p> <p>① isometric projection ②画面と ③ oblique projection 削除</p>
	228	左3-4	<p style="text-align: center;">あ</p> <p><u>アイソメトリック</u> 35 <u>アクソメトリック</u> 35 アクリル絵の具 202</p>	<p style="text-align: center;">あ</p> <p>アクリル絵の具 202 削除</p>
4	35	図5		
5	35	図4	<p>図4 ◆軸測投影 挿入</p>	<p>図4 ◆軸測投影法</p>

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
6	35	右9	<u>えがく</u>	<u>描く</u>
7	37	右18	一点透視投影 <u>図</u> 法	一点透視投影法 削除
8	50	左11	<u>境界線の</u>	<u>境界線と</u>
9	69	7	<u>そば軒を</u>	<u>けらばの出を</u>

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
10	83	図3	関連ペース 挿入	関連 <u>ス</u> ペース
11	88	図10(b)	2階小屋計画図 挿入	2階小屋組 <u>組</u> 計画図
12	94	中3	屋根勾配を <u>取</u> り,	屋根勾配を <u>と</u> り,
13	95	右6	寸法線・数値 挿入	寸法線・数値・ <u>・</u>

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
14	112	右2	<u>あ</u> わせて	<u>合</u> わせて
15	115	図6(a)	床 <u>板</u>	床 <u>版</u>
	150	左10	床 <u>板</u> など	床 <u>版</u> など
16	115	図6 (b) (c)	(b) 階数の <u>略記号</u> (c) 断面表の <u>略記号</u>	(b) 階数の <u>略符号</u> (c) 断面表の <u>略符号</u>
17	123	左7	見え掛 <u>かり</u>	見え掛 <u>り</u> 削除

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
18	126	左7	<u>い</u> れる	<u>入</u> れる
19	130	左3	<u>対象</u> に	<u>対称</u> に
20	134	7	コンクリート <u>造</u>	コンクリート <u>構造</u>
	136	左4	<u>造</u> とする。	<u>構造</u> とする。
21	135	右7	3階 <u>建て</u>	3階 <u>建</u> 削除
22	140	左21	<u>骨組み</u>	<u>骨組</u> 削除

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
23	141	右9	<u>ふ</u> れる	<u>触</u> れる
24	151	左下図	<u>最高高さ</u>	<u>最高高さ</u>
25	152	左6	断面記号 挿入	断面 <u>形状</u> 記号
26	153	左18-19	大梁・小梁・水平 筋かい・ <u>火打</u> ・根太は実線でかき、	大梁・小梁・水平 筋かい・根太は実線でかき、 削除

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
27	166	表3	<u>出来ない</u> 。	<u>できない</u> 。
28	166	左19	面積によ <u>つて</u>	面積によ <u>って</u>
29	170	表6	内線 <u>規定</u>	内線 <u>規程</u>
30	171	左27	さまざま <u>な</u>	さまざま 削除

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
31	184	図5	して <u>し</u> るぞ。	して <u>い</u> るぞ。
32	186	左14	<u>頻</u> 繁に	に <u>ひん</u> ぱん
33	191	左11	表示 <u>た</u> り	表示 <u>し</u> たり
34	206	左10	<u>実</u> 態が	<u>実</u> 体が

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
35	216	左13	それぞれの <u>行程</u> が	それぞれの <u>工程</u> が
36	216	右10	<u>平行</u> して	<u>並行</u> して
37	218	右14	<u>ソフトウェア</u>	<u>ア</u> <u>ソフトウェア</u>
38	222	4(a)	<u>L_a</u> の数值	<u>L_a</u> の数值

番号	訂正箇所		原文	訂正文
	ページ	行		
39	製図例 7-9	基礎伏図 ・1階梁 伏図	